

<b>Course number</b>		U-LAS70 10001 SJ50			
<b>Course title (and course title in English)</b>	ILASセミナー：ヨーロッパ近現代史入門 ILAS Seminar :Introduction to Studies in Modern and Contemporary European History		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,FUKUMOTO KENSHI	
<b>Group</b>	Seminars in Liberal Arts and Sciences		<b>Number of credits</b>	2	<b>Number of weekly time blocks</b> 1
<b>Class style</b>	seminar (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2024・First semester		<b>Quota (Freshman)</b> 12 (8)
<b>Target year</b>	Mainly 1st year students	<b>Eligible students</b>	For all majors		<b>Days and periods</b> Wed.5
<b>Classroom</b>	23, Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. West Wing			<b>Language of instruction</b>	Japanese
<b>Keyword</b>	ヨーロッパ / 近代史 / 現代史 / ナショナリズム				
( Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department. )					
<b>[Overview and purpose of the course]</b>					
<p>本演習では、ヨーロッパ近現代史に関する文献の精読を行う。今年度のテキストは、M・ヴァン＝ヒンダーアハター、J・フォックス編著（金澤周作、桐生裕子監訳）『ナショナリズムとナショナル・インディファレンス 近現代ヨーロッパにおける無関心・抵抗・受容』である。国民への、あるいはナショナリズムへの「無関心」を対象に、様々な事象を扱ったテキストを読み、19・20世紀ヨーロッパの多面的な歴史像や、ナショナリズム研究の現状と課題について理解を深めたい。毎週一章ずつ読み進め、担当者はレジюмеを作成し、それを基に出席者で議論する。</p>					
<b>[Course objectives]</b>					
西洋近現代史に関する文献の精読と討論を通じて、研究に必要な知識や方法論の基礎を身につけ、また自らの考えを言語化できるようになる。					
<b>[Course schedule and contents)]</b>					
<p>1．イントロダクション</p> <p>2．序章を読む          テキストの序章「ナショナル・インディファレンスと近代ヨーロッパ・ナショナリズムの歴史」（マールテン・ヴァン＝ヒンダーアハター／ジョン・フォックス）を読み、その内容について、金澤周作監修『論点・西洋史学』をサブテキストにして、そこで挙げられている論点を参考にしながら議論する。</p> <p>3～13．本論（第1～11章）を読む          担当者は、該当箇所のレジюмеを作成し、報告・問題提起を行う。それを踏まえて、出席者全員で議論する。</p> <p>3．「第1章 他のことで頭はいっぱい 19世紀ベルギーにおける国民文化プロジェクトの障害と限界」（トム・ウルスハフル）</p> <p>4．「第2章 ナショナル・インディファレンスと国民的献身の往還 第一次世界大戦期ロシアにおけるトレンティーノ出身戦争捕虜の軌跡」（シモーネ・A・ベッレッツァ）</p>					
Continue to ILASセミナー：ヨーロッパ近現代史入門(2)					

5. 「第3章 移行途上の迷い? アドリア海北部におけるハプスブルク帝国の遺産, 国家と国民形成, 新ファシスト秩序」(マルコ・プレシャーニ)

6. 「第4章 ナショナル・インディファレンスとトランスナショナル企業 チェコの製靴会社バチャのパラダイム」(ザカリー・ドルシャル)

7. 「第5章 ナショナリズムと無関心のあいだ 戦間期ユーゴスラヴィアにおける無関心の緩慢な排除」(フィリップ・エーデルヤッツ)

8. 「第6章 フランス人らしさへの複数の道 ナショナル・インディファレンスとアルザスのフランス復帰, 1919-1939年」(アリソン・キャロル)

9. 「第7章 政治を越えて 日常的民族実践としてのナショナル・インディファレンス」(ガーボル・エグリ)

10. 「第8章 国民への無関心・統計・構築主義パラダイム 戦間期ポーランドの国勢調査におけるトゥテイシ(「ここ出身の人々」)欄」(モルガン・ラベ)

11. 「第9章 20世紀前半の上シレジアにおける道具的ナショナリズム」(ブレンデン・カーチ)

12. 「第10章 「わたしは諸国民の境を取り払った」 第二次世界大戦終結期上シレジアにおける国民の乗り換えとローマ・カトリック教会」(ジム・ビョーク)

13. 「第11章 「ソヴィエト連邦市民 なんと荘厳な響きでしょう」 ポスト・スターリニズム期ソ連の投書・ナショナリティ政策・帰属意識」(アナ・ウィティントン)

14. 結論(第12章)と解題を読む  
テキストの結論「結論 (再論) ナショナル・インディファレンスと近代ヨーロッパ・ナショナリズムの歴史」(ジョン・フォックス/マールテン・ヴァン=ヒンダーアハター/ジェイムズ・M・プロフィ)および桐生裕子による解題を読み、論文集全体の疑問点や批判点に関する考察をまとめたうえで、議論する。

15. フィードバック

#### [Course requirements]

None

#### [Evaluation methods and policy]

報告の内容、演習中の発言、出欠状況をもとに、平常点で評価する。

#### [Textbooks]

マールテン・ヴァン=ヒンダーアハター、ジョン・フォックス編著(金澤周作、桐生裕子監訳)『ナショナリズムとナショナル・インディファレンス 近現代ヨーロッパにおける無関心・抵抗・受容』(ミネルヴァ書房、2023年) ISBN:9784623094356(入手方法については、別途初回に説明します。)

ILASセミナー：ヨーロッパ近現代史入門(3)

**[References, etc.]**

(References, etc.)

金澤周作監修『論点・西洋史学』（ミネルヴァ書房、2020年）ISBN:9784623087792（入手方法については、別途初回に説明します。）

**[Study outside of class (preparation and review)]**

毎回、決められた文献を読み、出席することが前提となる。また、報告担当者は、レジюмеを作成し、それに基づいて報告を行う。他の出席者からの質問に答えられるように、分からないところも調べてくることも求められる。

**[Other information (office hours, etc.)]**